

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名 : 南つくし野保育園

クラス : 3~5歳児クラス オリオングループ

年間テーマ : お寿司の興味から魚の生態へ

## 1、活動のテーマ

<テーマ>

アカハライモリとのふれあい

<テーマ設定の理由>

生き物を飼育する中で、命の大切さや特性を知り、大切にする気持ちを育んでいく。

## 2、活動スケジュール

12月~1月

- ・遠足で行った釣り堀王国で釣ったアカハライモリを3匹持ち帰る。
- ・飼い方を調べて、飼育開始。エサやりや水槽掃除を順番に行う。
- ・アカハライモリの特徴を調べ、クイズにしてお集まりで楽しむ。
- ・アカハライモリについて保護者にも伝えたいという意見があり、お楽しみ会で劇を行う。  
衣装や道具作り、ダンスを考える。

3月~

- ・保護者から金魚をいただけることになり、水槽などの環境を整えて玄関で飼育する。

## 3、活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・アカハライモリを飼育するためにカルキ抜き、エサを購入。
- ・爬虫類、両生類についての図鑑を本棚に設置。
- ・劇の準備で、カラーポリ袋、段ボールなど素材を用意。
- ・金魚の飼育準備で、水草や木、海老、魚を購入。

## 4、探究活動の実施

<活動の内容>

- ・釣り堀王国で自分たちで釣ったことで、愛着を持っている子が多く、名前をみんなで考えて嬉しそうに観察していた。飼い方を図鑑などで調べたり、生き物に詳しい保育士に聞きに行くなど、積極的に行動していた。
- ・グループみんなが気にかけて世話をする様子が見られた。その中で、定期的なエサをあげたり、水が汚くなったら変えることを忘れずに行ったり、持つときには優しくするなど触れ合い方を学び、生き物を大切にすることを芽生え始める。
- ・アカハライモリの飼育方法や生態について調べたことを保護者に発信する方法として、劇をすることにした。自分たちで台詞を考えたり、ダンスも取り入れるなど、年長児が中心となって進めていた。
- ・保護者から金魚をいただいたことで、玄関前に水槽を設置し、観賞コーナーを作った。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>



遠足で釣ったアカハライモリ。3匹がオリオングループに仲間入りしました。そこから自分たちで飼う方法を調べたり、わからないことは生き物に詳しい先生に聞きに行くなど、水槽を準備。名前も決まり、毎日嬉しそうに観察しています。エサはミミズ…動いているものをバクッと食べる姿にはみんな目が釘付けです。



世話をしていく中で調べた内容をクイズにしてみんなで楽しみながら、イモリへの興味を深めていました。



アカハライモリについて保護者にも教えたい!とお楽しみ会で劇をすることに。内容も自分たちで考え、衣装や必要な道具も制作。特徴や飼う時の注意点など、しっかりと伝えることができました。終わってからも水替えやエサあげなど、責任を持ってみんなでお世話をしています。今は水槽の中をもっと過ごしやすくしてあげようと、水草や石などを調べているところです。

### 5、振り返り（振り返りによって得た保育士の気づき）

- 自分たちで釣ったイモリを責任を持って育てるという気持ちが芽生え、保育士が声をかけなくても進んでお世話をしたり、様子を気にかけるなど、主体的に行動する姿が見られた。また、命の大切さや生き物への接し方を学ぶこともでき、グループみんなが関心を持って観察していた。
- アカハライモリと接する中で気づきや疑問などを一緒に考えていくと、クイズが始まったり、自分で調べるといった意欲へと繋がっていった。また、それを保護者にも伝えたいという思いも持ち始め、どんな形で伝えるかも話し合いながら子どもと一緒に決めることで、子ども同士で声をかけ合いながら準備を進められていた。
- イモリや金魚など、生き物の飼育は続いているので、大切にすることを継続できるように関わっていきたい。